

2005年
4月 No. 270

SINCE 1977

発行所 / 〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp



ボランティア かわらばん

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

かわらばんはこうしてできる!!

これがかわらばんの製作現場だ



なにげなく読んでいた「かわらばん」。こんなにたくさんの方のボランティア人がかかわっています。

企画

編集スタッフ
宮沢久美子

出さなければびっくり箱をあけるよう

30代主婦。小学生の子供1人。編集委員暦は1年4カ月。「かわらばん」以前にボランティア経験無し。執筆経験もまったく無し。

月2回の編集会議に参加し、特集記事の企画を立てる。それに沿って取材をして記事を書き、出稿前に特集タイトルや、見出しを作っている。全体のイメージもみんな考えている。



友人から「ボランティアかわらばんの編集会議をやっていて、面白いから一緒に来ない?」と声をかけてもらい、好奇心で参加したのがきっかけで始め、1年が過ぎました。文章を書くのが得意でない私にとって、記事を書くのは産みの苦しみに。初めて記事を書いたときは、机の上に髪の毛がはらはらと抜け落ちて愕然。いつも使わない脳みそを使ったからだ! (次の月からは大丈夫でした)

一方で、毎月の取材は普通の生活の中では出会えない方との出会いがあり、びっくり箱を開けるよう! 知らなかつた世界が広がり、たくさんの方の刺激を受ける楽しさがあります。今はかわらばん

みんながネットワーク

このかわらばんは信販販売センターのご好意で、一部の地域へボランティアで配布していただいています。

んを一人でも多くの方に読んでいた
だきたいと思いつながら、子育てとは
別の、もう一つの世界を楽しんでい
ます。

取材

取材スタッフ
込山哲也

僕の性格にぴったりの ボランティア

ソニー生命長野支社で、「地域への社会貢献活動とは何か？」を追求するため、このボランティアセンターにやってきたのがきっかけでした。たくさんのボランティアの中から、コーディネーターの戸田さんが「知らぬ人との出会いを意気に感じる」僕の性格を見事にヒットさせ、コーディネートされました。初めての取材も、興味ある内容から始まったことが幸いしスムーズに入れました。

非日常的な取材を楽しむ

毎月の取材を通して新しい発見が見つかります。僕の日常生活では、おそらく出会うことの無いグループ団体や、ボランティア現場で活躍された人の体験談を聴き、勉強することができます。どの方たちも思いはとも熱く、エネルギーが溢れて、つい私も意気投合して取材時間が押し気味になることも。「少しでもお役に立ちたい」という思いを原点に、取材を楽しんでいます。

メジャーな情報誌になれば...

役に立ったと喜んで読んでもらいたい。かわらばんは誰でも気軽に参

作業の流れ

編集会議



取材

初めまして「かわらばん編集員の〇〇です」
どんな切り口でおすすめしているか...

原稿書き



出稿

写真はこの位置。
カットはこのへい。

加できるボランティア情報誌です。読む人が一人でも多ければ多いほど、より多くの情報が集まります。しかし、まだこのかわらばんを知らない方や、ボランティアに触れ合っていない方が多くて残念。かわらばんを手にとってもらえる置き場の提供や配達ボランティアなど、かわらばんのお手伝いは無限大にあります。いつの日か、もっと多くの皆さんに認知され、誰もが気軽に参加できるボランティア情報誌となることを強く望みます。

取材

取材スタッフ
丸山いずみ

素敵な出合い うれしい一言

かわらばんの取材で、ある男性の方にお話をうかがった際、取材も一段落し、ふっと話が途切れたとき「いつから社会福祉協議会で働き始めたのですか」と聞かれた。「職員ではないんですよ、取材して記事を書くのはボランティアです」。

ついさっき「ボランティアの...」って自己紹介したのにと、思いながらも答えると、「えっ、本当にまったくの無償で取材して記事まで書いてちゃっているんですか」。ずいぶん驚かれました。この男性に限ったことではない。何人かの人がこの反応。「物好きな人」って思われているのかなあ。

かわらばん誕生
長野のボランティアの動きを多くの人に伝えたかった！人に伝えるためにはメディアが必要！お金をかけず、手軽に出せるミニコミ誌として27年前に誕生！ボランティアの動きだけでは終わらず、今となっては当時のいろいろな状況を現代に伝えてくれます。

子育て系主婦、週に2、3日外で仕事をしている私、このボラをはじめ、感動で涙があふれるような凄まじいことは起こらないけれど、まずまず楽しんでやっています。ちよつと素敵な女性や、うれしい一言に出会えたりもしました。

取材の後はいつも、この材料で書けるかなと不安になりますが、子育てや仕事の時と脳の違う部分が活動しているみたいです。記事が書きあがると（出来不出来は別にして）爽快感があります。これからは本業に支障のない範囲で、無理しないで続けるつもり、私の場合あまり気合いを入れすぎないで自然体でいるほうが長続きする気がします。



このボラは、人に会うのも文章を書くのも苦にならない人に向いているかもしれません。でも、一人で取材したり記事の責任をすべて負うなどということはありませんよ。興味のある方はいかがですか。

出稿

編集スタッフ & コーディネーター

てんやわんやの編集・デザイン

コロニー印刷へ印刷原稿をお渡しする出稿日。この日までにすべての原稿や写真やイラストが揃っているのが理想ですが、現実はどうと、さあ大変！。アレは無い、コレは無いの騒動から編集作業が始まります。お昼から始めて、切は夕方。まず出来上がっている原稿を校正して、足りない原稿を書き足します。スタッフが書いてくれた原稿はできる限りそのまま使うことを原則にしており、最低限の直ししかかけていません。仕上がりよりもやる気を第一に考えてのことです。

デザインは2〜3日前に行う出稿前編集会議の際にざっと決めておきますが、細部は当日ですので、もうテンヤワンヤです。「新聞社みたい」と見た人に驚かれました。あと2人位、スタッフがいてくれると楽なんですけど、というのが本音です。

印刷

(社福) 長野 若槻園福祉工場 コロニー

超特価で納品

このボランティアかわらばんの印刷は、障害者の「働く場」である長

印刷



発送



ヤッター!! 完成



手早い作業にも心がこもります。

野若槻園コロニーにお願いしています。毎月末の夕方、原稿をお渡しすると約二日間で印刷されて、三日目の昼には刷り上がったばかりの「かわらばん」がボラセンに届けられます。「定期的な発行物なのでこの期間で納品できますが、突発的な印刷ですとちよつと無理ですね」と営業の市川勉さん。今回はじめて印刷工場を見せていただき、工程の多さに驚きました。

短い期間なのに大変な手間をかけていただいているのが良く分かりました。デザイン処理の一つひとつをミリ単位以下の細かい手作業でされて

さまざまな発信方法
より多くの情報を視覚障害者に伝えるため毎月朗読をして下さっている「やまびこ会」さん。下読みを重ね、聞きやすくするため2〜3日かけて朗読テープを作っています。点訳の「てんとう虫」さんも毎月点訳をして下さいます。このような方法でも「かわらばんの」を支えているボランティアの力があります。

いたのにはびっくりでした。

かわらばんの担当の松倉さん、小林さん他のたくさんの方々。いつもお世話になりありがとうございます。印刷会社のみなさんからは「かわらばんは、内容もしっかりしていて私たちも楽しみに読ませてもらっています」とのうれしいお言葉をいただきました。

発送

発送スタッフ 岩崎倅明

なごやかにテキパキと

昭和52年にガリ版刷り500部でスタートした「かわらばん」も、今や5500部の大台に達し、情報誌としての大きな役割を担っている。私たち発送スタッフは毎月1回発行されるボランティア情報誌を市役所、

各社協、各グループ、中学校、高校、全国各地の登録者に郵送するほか、メールの発送作業をしている。

発送作業は毎月上旬、会員(40〜70代)8人がふれあい福祉センターの一角で行っている。内訳は定型外(大形封筒)平均137通、定型(小形封筒)430通のラベル貼り、小型封筒への三つ折りなどで、毎回3時間くらいかかる。

単純な作業であるが、お互いに助け合い、その月の話題やおしゃべりをしながら和やかな内にテキパキと手際よく仕上げていく。最後に仕上がった封筒は行き先ごとにまとめて発送するが、これがかな



りの力仕事で印刷会社から搬入された500部づつの山が、それぞれの部数ごとに収まった封筒の山を見ると満足感が滲みでる。

スタッフは市内各所から定刻に集まって来るが、印刷ホヤホヤのインキの香りを吸いながら、ボランティア精神を発揮し活動している。

活動日は毎月上旬の一日。午後1時30分から4時頃まで、ふれあい福祉センター一階ボランティアセンター。tel 22713707。約3時間の発送ボラに、みなさんの力をちよつと貸していただけませんか。お待ちしております。

ボウセコだより

身近なところから新一步!!

ながのボランティアのつどい2005開催

ボランティア活動の意義について再確認するとともに、個々の持つ力をより活かすためにはどうすればいいのか、身近な所からボランティアについて考えることを目的に3月12日(土)に開催されました。

全体会には静岡ボランティア協会常務理事の小野田全宏氏を迎え、「ボランティア活動は他人事ではない普通の出来事」と題しご講演いただきました。昨年の新潟県中越地震の被災者への支援を例に、私たちが日常生活を過ごすなかで、ちよつぱり勇気を持って一歩踏み出すことが、大きな活動の流れにつながっていくことをお話いただきました。その後、4つのテーマごとに分科会が開催されました。

第1分科会

地域でボランティア活動を学び・つなぎ・広げよう!

地域でのボランティア活動のあり方について、地域の課題・問題点について話し合いながらアイデアを出し合いました。雪かき・近隣関係・子育てなどの様々な課題、問題が生まれ、このような課題・問題を解決するためには地域に住む一人一人がボランティア活動に参加することが大切という方向性が出されました。

進行役の内山二郎氏からは長野市が進めている地域福祉計画と都市内分権を取り上げながら、今後地域でボランティアが果たす役割の重要性や、そのためにボランティアが地域に入り込んでPRしていく努力も必要だという意見をいただきました。



第2分科会

子育て中だから何かが出来る!

土曜日や休日
に地域の人々やお父さんたちが子供たちと交わるなかで、日頃ふれあうことのない人々と知り合い、ともに元気になれるような活動を応援しようということ、東京都小平市第六小学校のおやじの会の方をお呼びして、子どもたちの居場所づくりや交流活動の事例をお聞きしました。「子どものクラスで一番有名なお父さんになることを目標に、自分たちが楽しむことが一番です」と話してくださいました。お父さんの社会参加の秘訣は自ら楽しむことなんですね。お父さん頑張っています!



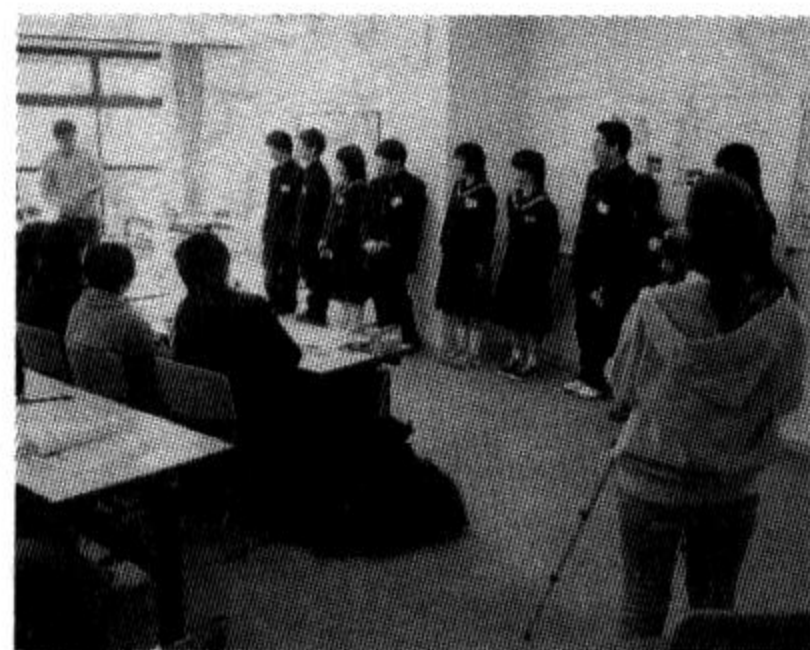
第3分科会

中学生ボランティア新入り!!

中学生のボランティア活動といえば「ゴミ拾い」「老人ホーム訪問」が思い浮かびます。そういった活動はもちろん大事ですが、それだけで終わってしまうのは勿体ありません。

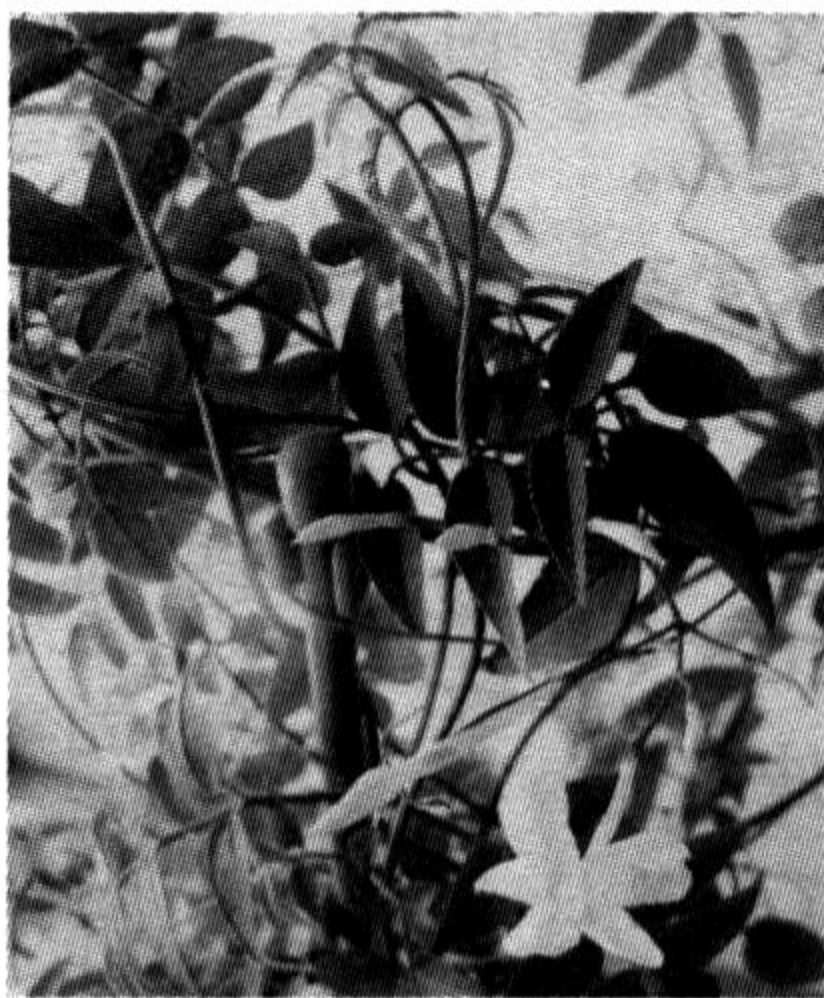
今回は上田ヤングボランティアサークルアドバイザーの坂口平氏を講師に迎え、興味深い事例を交えながら、中学生のボランティア活動の可能性について考えました。

参加した約20名の中学生からは様々な意見が出されました。中学生ならではの柔軟な感性からは、既成概念にとらわれない活動を創り出す予感がする分科会となりました。



グリーンノート

店の片隅



ジャスミン、小さな花1つでも良く香ります。いつだったか、季節はずれに買ったポット苗

かえり。栄え。見栄。花。葉。園芸店のポット苗。春の気持。だ。もう。所。盛。期。で。い。る。の。だ。再。生。で。い。る。花。が。咲。い。て。帰。る。こ。と。も。あ。り。ま。す。

グリーンクラブ 徳永

スタッフ日記

私は人との出会いをとても嬉しく思います。四月には地域で、子どもの学校関係でとうぐあい新しい出会いがあります。生涯に何人の人と出会えるのでしょうか。

一人ひとり生きてきた人生が違い、新しい発見があります。しかし、初対面の人とのコミュニケーションの取り方は難しいものです。

そんな場合、私がかけていることは笑顔です。笑顔でいいいな言葉で接すればいい気分になる人はいません。人は違って当たり前と思うと新しい出会いは新鮮です。自分を見つめ直す機会にもなります。

ボランティアセンターに勤めて一ヶ月余りが過ぎました。センターを訪れるボランティアグループの皆さんのパワーは毎日の驚きです。ここは戸籍年齢を忘れさせてくれる空間です。

(今井)

いざ災害が起きたときに私たちはどう対処したら良いのでしょうか。まずは正確な情報を得て、的確な判断と素早い行動が要求されます。最初の3分間、3時間、3日間、どのような切り抜けそれからどうするのか、静岡県ボランティア協会の小野田氏からアドバイスを頂きながら考えました。

近所に誰が居るのか、どんなネットワークが持てるのかといったことを、日頃から意識しておくことが大事なことではないでしょうか。



「まいて・育てて・収穫しよう！」
じゅず玉をテーマに世代間交流・サロン・総合学習等で取り入れてもらおうと呼びかけたところ、百人を超える問合せがあり、3月25日にじゅず玉をお分けする会を開きました。何十年も探し求めていた方から、今回初めて手にする方など、多くの方に集まっていたいただき、育て方や作品のつくり方について情報交換をしました。秋の収穫の際には、みんなが集まり情報交換会を開くことを約束し、わずかなじゅず玉を大事そうに持ち帰られました。秋が楽しみです。



ささえあい応援金 公開プレゼンテーション審査会開催

「ながの市民活動支援ネットワーク」による、NPO・ボランティア市民活動団体・グループの活動に必要な財源を応援する「ささえあい応援金」公開プレゼンテーション審査会が3月13日(日)にふれあい福祉センター5階ホールで開催されました。

今回は8団体からの申請があり、障害者の社会的自立を目指す活動、まちの活性化を目指す活動など新しい活動に取り組む団体・グループが目につきました。約1時間半のプレゼンテーション審査の後、審査員5人が評価した審査内容から下記の通り8団体への応援金が決定しました。

グループ	対象事業	決定額
1 本人の会、準備会	知的障害者の自立を考える会	30,000
2 花キルト実行委員会	私の好きな花キルト展	73,000
3 NPO法人夢空間 松代のまちと心を育てる会	城下町松代のテーマ別 地区ガイドブックの作成	83,000
4 NPO法人みどりの市民	「エコサロン」クラブ	50,000
5 ながの再生つばさの会	医療講演会患者家族交流会	57,000
6 ハッピーサークル連合会 (ハッピーサークルながの)	「第二回ふれあう仲間たち ステージ発表会」	71,000
7 サロン・ド・カフェ運営委員会	サロン・ド・カフェ	27,000
8 田舎の親戚	畑で語ろう	67,000
合計		458,000円

長野市ボランティアセンター 3月の相談現場

3月に入り立て続けに大学生、短大生、高校生から相談を受けるケースがありました。どの相談も「なにかボランティア活動をしたい、できれば子どもと関わる活動はないでしょうか」という内容でした。

「子どもと関わりたい」という切り口一つとっても、多岐にわたる活動があることを伝えると、想像以上にボランティア活動の広さと深さに驚いていました。

どの学生も「ぜひ、この情報を他の学生へも伝えたい。このような情報があれば、活動をした人はいくらいると思います。」とおっしゃってくださいます。この日の情報を持ち帰り、検討をしたある大学生は、自分のボランティア活動の一つとして、「ボランティアセンターの情報をもとに自分の学校へ運ぶ活動をした」と再び来所してくださいました。

ボランティアセンターの情報も、いくつかのツールで発信していますが、まだまだ行き届かないことを痛感しました。そこで学生たちによる学生のための、情報発信チーム作りを検討しています。センターの情報が、多くの学生たちに顔が見える形で届き、様々な活動に関われるきっかけになってほしいと思います。



現場状況 3月分

相談件数	
ボランティアしたい	16件
ボランティア求む	5件
情報求む	11件
ボランティア活動支援	6件
ボランティア活動上の悩み	1件
よろず相談・悩みごと	1件
ボランティア保険・事故処理	2件
その他	2件
合計	44件

問い合わせ件数	
会議室予約	237件
伝言	134件
情報提供	262件
機材貸し出し	98件
チラシ・掲示板	85件
その他	354件
受付(よりいい会等)	846件
合計	2016件

(取りまとめ期間:3月1日~3月29日)

情報カード受付	27件
機材貸し出し	15件 35ヶ
ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	32件
行幸用保険	4件
在宅福祉サービス総合保険	1件
送迎サービス補償保険	0件
合計	37件

情報

いつも傾聴 でんわ

話すことでちょっと気持ちが軽くなる
かもしれない。貴方からのお電話
待ってます

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00

水 14:00~21:00

問:長野市ボランティアセンター

いつも傾聴でんわ係

TEL 026-227-3707



情報

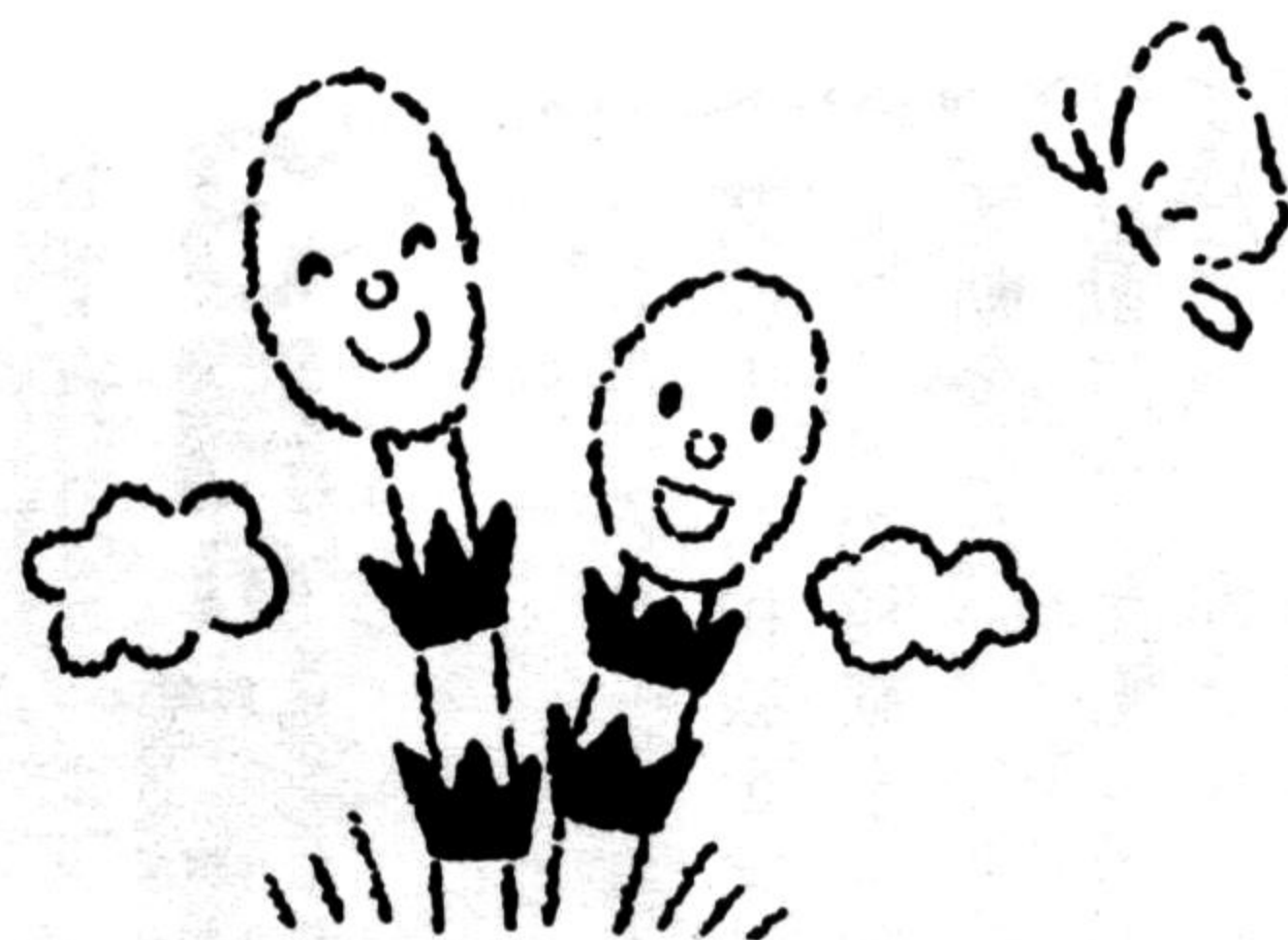
おもちゃ病院 開いています

毎月第2日曜日、もんぜんぷら座
内じゃんけんぽんでおもちゃ病院
開いています。幼稚園、小学校の
みんなも壊れたおもちゃを持って
きてね。(保護者同伴)

病院スタッフも募集中です。

問:じゃんけんぽん事務局

TEL 026-219-0022



情報

電話相談員養成講座 受講者募集

「ながの子どもを虐待から守る会」
では、下記のように第6回電話相談員
養成講座を企画しました。ボランティアで
電話相談をやってみみたい方、子育て
経験のある方、是非ご連絡ください。

日時:5月24日~12月6日 全15回

講義形式 平日18:30~20:00

実践形式 土曜13:00~17:00

場所:長野市内

費用:10,000円 定員:20名

4月28日までに下記までご連絡下さい。

問:ながの子どもを虐待から守る会

〒380-8582 長野市若里2-22-1

長野赤十字病院内

TEL090-7283-5761

abuse.nagano@nagano-med.jrc.or.jp

情報

蒔いて育てて 作っちゃおう!

じゅず玉を蒔いて育てて、お
手玉を作りませんか?

詳しくは下記まで。

問:長野市ボランティアセンター

TEL026-227-3707 戸田

◆次回かわらばんは5月10日前
後の発行予定。掲載希望団体
は4月27日(水)迄に原稿をお
寄せ下さい。

◆ボランティアかわらばん掲載記事
を転載される場合は情報提供
致しますのでご連絡ください。

長野市ボランティアセンター

TEL026-227-3707/Fax224-1513

vc103@vnetnagano.or.jp

情報

平成17年度ボランティア保険 受付中です

平成17年度のボランティア保険の加入申込みを受け付けています。申
込用紙はセンター窓口で配布しております。申込時には加入者の印鑑が
必要ですのでお忘れのないようお願いします。

なお、内容について下記のとおり改定となりましたのでご確認ください。

【ボランティア活動保険】

◆基本タイプに熱中症(日射病、熱射病)及び入院保険金1,000日保証を
追加

【ボランティア行食用保険】

◆Aプラン(日帰り)において、開催するボランティア行事の内容によ
り「A1・A2プラン」に区分し掛金を改定

A1プラン…1名・1日につき30円 A2プラン…1名・1日につき130円

◆Aプランにおいて、最低掛金を20名分に改定しました。(従来1,500円)

A1プラン…600円(30円×20名) A2プラン…2,600円(130円×20名)

詳細については下記までお問合せ下さい。

問:長野市ボランティアセンター(保険担当) TEL026-227-3707

情報

FMぜんこうじ4月の出演者は?

毎週(木)12:45~55<76.5MHz>

7日 アースデイ長野事務局

アースデイ2005について

14日 あいまい会

今年度の活動について

21日 長野市マジック愛好会

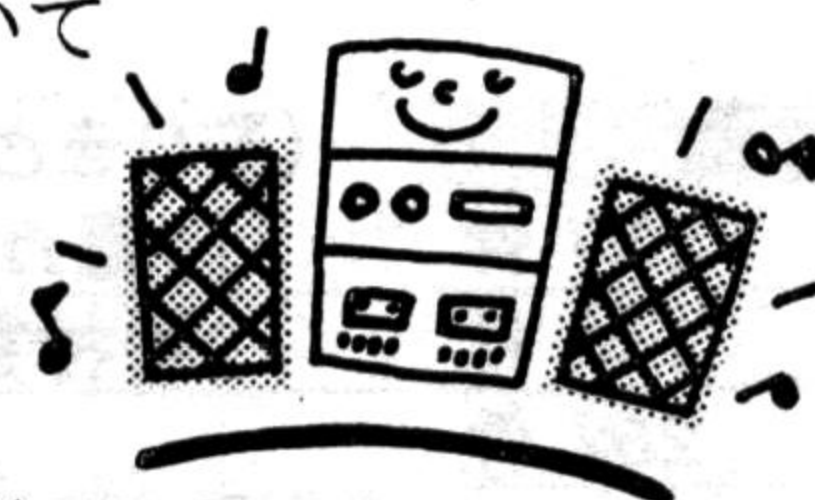
みんなで楽しむマジックショー

28日 長野市ボランティアセンター

新規職員紹介

※出演者募集中です。ご連絡ください。

問:長野市ボランティアセンター TEL026-227-3707



情報

かわらばん配布場所について

4月1日付で長野市社会福祉協議会が旧4町村の社
協と合併をしました。それに伴い長野市ボランティ
アセンターも新長野市を対象に事業展開いたします。
かわらばんの配布場所については、下記のとおりに
なります。新たに長野市に合併になったエリアでも
入手可能ですので、引き続きご愛読をお願いします。

【かわらばん配布場所】※全て長野市内
市内の公共機関(支所、公民館、図書館など)、ロー
ソン各店舗

問:長野市ボランティアセンター TEL026-227-3707

催し

田舎の親戚 春のご案内

田舎の暮らしの知恵に触れてみませんか。草もち作り、味噌作り、畑仕事などやっています。お待ちしております！

日時：4月8日(金)、9日(土)
場所：長野市屋島 田舎の親戚
参加費：実費

問：田舎の親戚 TEL026-243-7654

求む

グループホーム 世話人さん募集

知的障害のある方のグループホームの世話人さんを募集しています。主な仕事の内容は食事の準備や掃除です。

時間帯：朝と夕方
場所：北尾張部 吉田 高田北条
東和田

詳しい時間帯、時給については下記までお問合せください。

問：社会福祉法人ながの障害者
生活支援協会
TEL026-259-9970 前原

催し

おしゃべりサロン

どなたでも参加大歓迎。何でもおしゃべりしませんか。皆さんお出かけください。

☆おしゃべりサロン

日時：毎月第3火曜日13:30～
☆クラブでこぼこ

日時：毎月第1火曜日13:30～
場所：ふれあい福祉センター
参加費：100円

問：あいまい会 TEL026-286-4327

催し

春だ！ 字幕付き映画を見よう！

長野県松本市を舞台にした映画、「さよならクロ」は日本語字幕付きです。どなたでも大歓迎です！

日時：4月16日(土)13:00～
場所：須坂市メセナホール
参加費無料

問：長野県視覚障害者ライブラリー
TEL 026-295-3530

求む

古里児童センター こどもの遊び相手募集！

放課後子どもと一緒に遊んでくれるボランティアを募集しています。囲碁・将棋・トランプどんな遊びでも結構です。元気な子ども達が待ってます！ 時間：平日夕方

問：古里児童センター
TEL 026-296-3883

催し

手作り絵本巡回展

お母さん達が一生懸命作った、世界にたった一つの絵本です。是非大勢の方に見て、触れて、楽しんでいただきたいです。

日時：4月9日(土)・10日(日)
場所：長野市篠ノ井公民館

問：手づくり絵本の会 酒井
TEL026-292-0801

催し

4月の月例情報市場 新しい出会いがきっとある

企業・NPO・ボランティアグループ相互の物品・資源・情報の交換会。
参加費無料です。

日時：4月20日(水)15:30～17:00
場所：ふれあい福祉センター

問：ながのボランティア・市民活動支援
ネットワーク TEL 026-227-3707

催し

ながのこどもまつり

「あつまれ♪手づくり遊園地へ」が今年のテーマです。いろいろな楽しい遊びがいっぱい！是非お出かけ下さい。

日時：5月8日(日)10:00～15:00
会場：若里公園※雨天時は隣保館
問：ながのこどもまつり実行委員会
TEL 026-244-9616

催し

シニアエクササイズ 転倒予防の筋力づくり

日時：4/11～7/11
場所：サンマリンながの
費用：3,640円(3ヶ月)
別途入館料400円

問：サンマリンながの
TEL026-221-5535 山本

求む

フルドリキルト 募集のお知らせ

平成17年5月1日～5日まで開催予定のながの花フェスタ2005へ出展する500枚のパッチワークのキルトを作成する「キルター」を募集しています。くし縫いが出来る方なら誰でもOKです。ぜひご参加ください。

問：南石堂商店街振興組合
小淵 TEL 026-228-0294

催し

ストレスケアの ストレッチ

毎日頑張っているあなた。少しで疲労した心と体を癒しましょう。他動的なストレッチですから、あなたは横になっているだけ。心地よさと爽快感を体験してください。

日時：5月22日(日)12:30～14:30
場所：ふれあい福祉センター
参加費無料

問：ストレスケアセンター 栗田
TEL 026-223-5504

催し

家庭教育講座

親子のふれあいの深さは、時間の長さではありません。タイミングです。テーマ：親と子の心のピントの合わせ方
日時：4月18日(月)10:00～12:00
場所：ふれあい福祉センター
講師：小林希美枝さん
参加費無料

問：信濃家庭教育研究所 大久保
TEL 026-296-0145

催し

「時代を撃て多喜二」 上映会

生きたい、書きたい。多感でひたむきな多喜二の青春。各界の多彩な証言者・資料が語る人間多喜二の魅力をどうぞ。

日時：4月14日(木)
場所：長野市女性会館しなのき
当日券：1,300円

問：「時代を撃て多喜二」
上映実行委員会
TEL026-232-1226

求む!

出会いをつくる
新鮮!! 情報紙

4月 ボランティア
かわらばん
No.270

ながのボランティアかわらばん編集委員会

ボランティア

します!

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 http://www.vnetnagano.or.jp
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

求む 困っています

長野市ボランティアセンター事業は、皆さまからの寄付金で支えられています。ところが、最近の経済状態から寄付金も少なく大変困っています。ご家庭で眠っている書き損じハガキ、古切手、ヘルマーク、テレホンカードがございましたらぜひご寄付ください。

問:長野市ボランティアセンター 渡辺
TEL026-227-3707

催し

来て見て知ろう赤十字病院

当院では、5月8日の世界赤十字デーと12日の看護の日になみ、地域の皆さまと交流できる機会にしたいと思っています。

日時:5月10日(火)~5月12日(木)

5月10日...講演会「災害時のこころのケア」 他マジックショー・シンポジウム等

5月11日...特別講演会 講師 小澤昭一氏 他

5月12日...学校講演会 講師 川田龍平氏 他高校生一日看護師体験等

場所:長野赤十字病院

問:長野赤十字病院社会課 TEL026-226-4131

求む 川柳大募集

安全のために日常気をつけることや、ご近所のネットワークを活かせる川柳を大募集!ご応募いただいた川柳は選考のうえ、カルタに使わせていただきます。

問:長野市ボランティアセンター
TEL026-227-3707 渡辺

求む

**コンサートの
介助スタッフ募集**

5月22日に開催される「笑顔のお手伝いコンサート『アコム“みる”コンサート物語』」の介助スタッフを募集しています。

日時:5月22日(日)

11:00~17:00

場所:県民文化会館

昼食と交通費を負担します。

問:アコム(株)広報部

TEL03-5533-0861

担当:安西・近藤

催し

第9回もみじ講演会

第9回目を迎える講演会も、毎回大勢の方が活発な意見を提供され、見識を広めてくださいました。今回も大勢の参加をお待ちしています。

日時:4月17日(日)10:30~16:00

場所:松本市中央公民館

参加費:3,500円

問:グループもみじ TEL026-227-4425

求む

かわらばん編集委員になりませんか

ボランティアの手による、ボランティアのためのかわらばん。あなたも一緒に作りませんか?文章の書くことが好きな方お待ちしております。

問:長野市ボランティアセンター内 かわらばん編集委員会

TEL026-227-3707

**書き損じハガキ
ありがとうございました!**

たくさんのご寄付ありがとうございました。有効に活用させていただきます。

宮沢弘子 山岸益夫 小宮山 横地 鶴田

篠ノ井地区社協 安茂里老人福祉センター

長野赤十字病院 古牧連絡所 渡辺

匿名5名

[敬称略]

書き損じ葉書集めてます!

書き損じハガキや、余った年賀状等をご寄付ください。長野市のボランティア活動支援に役立てます。

問:長野市ボランティアセンター TEL026-227-3707/Fax 224-1513 長野市大字緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター1F

